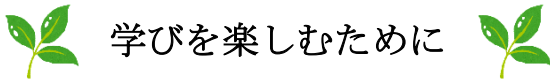




# 原市南小だより 5月号

TEL 048-722-2100

児童数:471名 学級数:18学級 携帯 080-5672-1159(学校閉庁日のみ)



学びを楽しむために

校長 小高 達也

令和6年度が始まり1か月が過ぎました。原市南小の子供たちは元気にあいさつをしてくれるので、いつも元気をもらっています。目を合わせて笑顔であいさつしてくれる子や立ち止まってあいさつをしてくれる子もいます。また、すれ違った保護者の方に元気なあいさつをしてくれた子もいました。「あいさつはいつでも、どこでも、だれにでも」が学校の合言葉です。まずは、一人一人ができることから始めて、それを毎日続けて、自然な行動になることを期待しています。



3人のレンガ職人というお話を聞いたことがあるでしょうか。大まかな内容は以下の通りです。

ある旅人が町外れの道を歩いているとレンガを積んでいる職人に出会う。

旅人はその職人に何をしているのか聞くと「見ればわかるだろう。レンガ積みだよ。朝から晩まで、俺はここでレンガを積まなければならない。」と答えた。

しばらく行くと一生懸命レンガを積んでいる別の職人に出会う。旅人は同じように尋ねると「俺はここで大きな壁をつくっているのだよ。これが俺の仕事でね。」と答えた。

さらに歩くとまた別の職人がレンガを積んでいるのに出会う。旅人は同じように尋ねると「俺たちは、歴史に残る大聖堂をつくっているんだ。将来ここに来た大勢の人たちが祝福を受け、悲しみを払うんだ。」と答えた。

3人の職人は同じ「レンガを積む」という行動をしていますが、その行動に対する心持ちは随分違うように感じます。

今、子供たちが行っている学習はどうでしょうか。

言われたからやる、怒られるからやるのでは、なかなか学ぶ意欲は高まりません。(そんな中でもきちんと机に向かって頑張っているのは立派なことです。根気強さも、忍耐強さもよさの一つです。)

ここからさらに意欲を高めるためには、自分で目標を決めて取り組むことが有効です。今だけではなく、少し先の未来を想像することで、少し視界が開けるのかもしれない。

さらに主体的に学ぶためには、学ぶ意味や楽しさを見出だしたり、社会とのつながり、将来とのつながりを想像したりすることができるとういと思います。将来の自分の姿を思い浮かべることで、学び方も変わってきます。

難しくても挑戦しようと思えるのは、「こうなりたい」と思う姿や「知りたい」と思う好奇心があるからです。

学校の授業では、単元や時間ごとの目標をもって学習し、テスト等を行って定着状況を確認して指導に生かしています。さらに、学ぶことの意味や役割についても子供たちと考えながら、将来と今の学習がつながるような指導をしてみたいです。

ご家庭でも、様々な体験や会話を通じて、お子様が明るい未来を想像できるように、学ぶ楽しさを味わえるように、ご協力をお願いいたします。

